

共用品推進機構だより 2008年(04)4月25日

## 目次

### (19) 共用品推進機構関連記事

「DVD『NHK道徳ドキュメント2』/共用品推進機構 星川安之」  
「書籍『世界をよくする簡単な100の方法』/共用品推進機構 星川安之」  
「バリアフリー2008特別講演/共用品推進機構運営委員 後藤芳一」  
「第7回産学官連携推進会議パネリスト  
/共用品推進機構運営委員 後藤 芳一」

### (20) 各種催しとお知らせ

「第7回交通バリアフリー シンポジウムのお知らせ/交通バリアフリー協議会」  
「中小企業産学官連携推進フォーラム/中小企業基盤整備機構」  
「中小企業総合展/中小企業基盤整備機構」

### (21) 製品関連記事

「きれいに消せる修正テープ/ホワイパーフレックス」  
「ユニバーサルデザインに配慮した、ひかり電話専用ホームテレホンを発売  
/NTT東西」

### (22) サービス関連記事

「障害者らが点検...バリアフリー化検討/鳥取県米子駅」

### (23) 行政関連記事

「聴覚障害者対応を改善 窓口15カ所に『耳マーク』/福岡県みやま市」  
「弱視の子ども向け教科書作り充実へ/文部科学省」

### (24) その他、各種関連記事

「障害者雇用業務に広がり/ソニー・太陽」

### (25) 新刊紹介

『伴走者たち』  
『自閉症児聡の一日』  
『きちんと伝わるはじめての手話』  
『障害者スポーツの世界』  
『車いすの旅人が行く!』  
『鬼平犯科帳 13-1~3 新装版』  
『発達と障害を考える本 11,12』

---

### (19) 共用品推進機構関連記事

「DVD『NHK道徳ドキュメント2』/共用品推進機構 星川安之」

昨年NHKで放送された道徳ドキュメントを基に、巨樹に魅せられた画家、  
100年前の古い道具を修復する仕事などを紹介したDVD。星川も「使いや  
すさを広めたい」に出演している。

NHKエンタープライズ/45分/片面/カラー/ステレオ/9,000円

「書籍『世界をよくする簡単な100の方法』/共用品推進機構 星川安之」

フェアトレードを意識する、行楽帰りにゴミを拾う、オーガニック収穫祭を  
する...。小さな事から大きな企画まで、社会貢献に役立つアイデアと実践の方  
法を紹介。今すぐに、「世界をよくしたい」をかなえるためのガイドブック。  
星川も「バリアフリーを考える」で紹介されている。

著：斉藤榎(さいとう・まき)

発行：講談社

本体価格：1,428円  
ISBN:978-4-06-214101-7

「バリアフリー2008特別講演 / 共用品推進機構運営委員 後藤芳一」

高齢者・障害者の快適な生活を提案する製品や情報を発信する展示会。  
日時：2008年4月25日(金)～27日(日) 10:00～17:00  
場所：インテックス大阪 大阪市住之江区南港北1丁目5番102号  
参加方法：講演、セミナーは事前登録制 申込方法：公式サイトよりお申し込みください  
参加費：無料  
主催：(社)大阪府社会福祉協議会・テレビ大阪  
公式サイト：<http://barrierfree.jp/>  
事務局：TEL:06-6944-9913

特別講演：日本福祉大学 客員教授 後藤 芳一氏  
27日(日)12:30～14:00  
「事例にみる福祉用具事業化のポイント～異分野連携、販売促進、資金調達、事業モデル～」福祉用具の事業化には、開発や販売促進の先に、連携、資本政策などが鍵になる。中小企業向けに広く提供されている支援策の、実践的な活用法を話す。<http://www.itp.gr.jp/bf/raijo/keynote.html>

「第7回産学官連携推進会議パネリスト / 共用品推進機構運営委員 後藤 芳一」

産学官連携の推進を担う第一線のリーダーや実務経験者等が一堂に会し、具体的な課題について、研究協議、情報交換、対話・交流・展示等の機会を設けることにより、産学官連携の新たな展開を図る。  
日時：6月14日(土)8:30～20:00  
6月15日(日)9:00～12:30  
場所：京都国際会議場(京都・宝ヶ池)  
参加方法：登録制 5月16日(金)までにHPよりお申し込みください  
参加費：無料  
主催：内閣府、文科省、経済省、経団連ほか  
HP：<http://www.congre.co.jp/sangakukan/top.html>  
事務局：TEL 03-5216-5620

パネリスト：中小企業基盤整備機構 理事 後藤 芳一氏  
14日(土)11:30～15:00  
「科学技術による地域イノベーション」の分科会13:00～15:00と、ワークショップ11:45～12:45で、地域と中小企業に届く産学官連携について議論する。  
HP：<http://www.congre.co.jp/sangakukan/bunkakai.html#01>

-----  
(20) 各種催しとお知らせ

「第7回交通バリアフリー シンポジウムのお知らせ / 交通バリアフリー協議会」

18年度末にユニバーサル社会実現に向けハートビル法と交通バリアフリー法が統合され、内容が拡充したバリアフリー新法が実質的に浸透し始めた。改正内容に基づき、更なるユニバーサル社会の実現を目指し、全国的に加速されて行くものと思われる中、現状、取り組みについて発表する。  
発表：富山市のバリアフリーのまちづくりの取り組み  
川崎市のまちづくり  
成田国際空港の空港のバリアフリー  
日時：平成20年5月30日(金) 10:00～15:50  
場所：赤坂区民センター 東京都港区赤坂4-18-13 TEL03-5413-2711  
参加方法：5月23日(金)までに事務局へメールまたはFAXでお申し込みください  
Mail：[b-tbfc@jtbfc.gr.jp](mailto:b-tbfc@jtbfc.gr.jp) FAX：03-3584-0577  
参加費：無料 別途講演論文資料販売有(1,000円)  
問い合わせ先：(社)交通バリアフリー協議会 TEL:03-3584-5032  
HP：<http://www.jtbfc.gr.jp>  
後援：国土交通省

「中小企業産学官連携推進フォーラム / 中小企業基盤整備機構」

地域と中小企業に届く産学官連携について、各地の事例をもとに、成功のためのポイントを議論する。

日時：5月23日(金) 午後

場所：経団連ホール(東京・大手町)1000円程度(予定)、登録制

HP：中小企業産学官連携の<http://www.smrj.go.jp/venture/sangakukan.net>)や、中小機構のHPで、近く募集を始めます。

「中小企業総合展 / 中小企業基盤整備機構」

約2倍の倍率で選ばれた全国の中小企業が出展。29日(木)午前は、中小企業の産学官連携や、インキュベーション施設の活用についてシンポジウムを行う。

日時：5月28日(水)～30日(金) 10:00～17:00

場所：インテックス大阪 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102

問い合わせ先：中小企業総合展事務局 TEL:03-3524-4668

HP：<http://sougouten.smrj.go.jp/index.html>

---

(21) 製品関連記事

「きれいに消せる修正テープ / ホワイパーフレックス」

コツのいらぬ横引きタイプの修正テープ。従来のタイプは、手の傾きが本体に影響しやすく、使い方にコツが求められた。新製品は、ヘッド部がしなり、本体が傾いてもしっかり紙面に密着する新機構を採用した。

参考価格：294円

発売元：プラス Tel 0120-000007

(日経MJ・2008年4月21日16面より抜粋)

「ユニバーサルデザインに配慮した、ひかり電話専用ホームテレホンを発売 / NTT東西」

NTT東日本とNTT西日本(NTT東西)は、複数世帯住宅など複数の電話番号や電話機を必要としている家庭向けに、ひかり電話の特長である1契約で2回線分の同時通話ができるサービスや、最大5つの電話番号が利用できるサービスに対応したひかり電話専用ホームテレホン「IPテレホンUD」を発売した。

ユニバーサルデザインに配慮し、タッチパネル方式などを採用しているため、操作性に優れ、簡単、便利に利用できる。

(ふくしチャンネル・2008年4月23日より抜粋)

---

(22) サービス関連記事

「障害者らが点検...バリアフリー化検討 / 鳥取県米子駅」

JR米子駅構内のバリアフリー化(障壁解消)のため、エレベーターの新設を検討している鳥取県と米子市、JR西日本米子支社は、視覚障害者や車いす利用者ら福祉関係者約10人を招き、現地視察と意見交換会を開催。出席者からは様々な改善要望が相次いだ。

(読売新聞・2008年4月18日より抜粋)

---

(23) 行政関連記事

「聴覚障害者対応を改善 窓口15カ所に『耳マーク』 / 福岡県みやま市」

みやま市はこのほど、市役所の窓口15カ所(支所含む)に「耳マーク」の表示板を設置した。聴覚障害者が窓口でマークを指すだけで、自分が耳が不自由なことを職員に知らせることができる。市福祉事務所は「聴覚障害者と分かれば、職員がすぐに筆談などで手続きを進めるなど、スムーズな対応に努めたい」としている。

(西日本新聞朝刊・2008年4月22日より抜粋)

「弱視の子ども向け教科書作り充実へ / 文部科学省」

文部科学省は、弱視の子どもたちのために図版や文字を大きくした「拡大教科書」の作成態勢を充実させる方針を決めた。作成は現在、約8割がボランティア頼み。教科書会社に発行を促し、より円滑な供給を目指すための検討会議を25日に発足させる。

(朝日新聞夕刊・2008年4月24日14面より抜粋)

---

#### (24) その他、各種関連記事

「障害者雇用業務に広がり / ソニー・太陽」

ソニーの障害者特例子会社であるソニー・太陽(大分県日出町)はマイク組み立てに依存した現在の事業構造を見直し、ソニーの部品データベースの構築や管理を受託する。業務多様化で経営基盤を安定させ、組立作業が難しい障害者の働く機会も創出する狙い。

(日経産業新聞・2008年4月22日27面より抜粋)

---

#### (25) 新刊紹介

『伴走者たち』

伴走者とランナーとの物語をはじめ、発達障害・知的障害のあるランナーを育てるマラソン教室、「走るための義足」をつくっている義肢装具士とアスリートたちのお話などを収録している。

著：星野恭子(ほしの・きょうこ)

発行：大日本図書

本体価格：1,600円

ISBN:978-4-477-01929-1

『自閉症児聡の一日』

自閉症の子どもを主人公にした物語を通じて、彼らが保護者のことばや教師の指示をどう受け止め、あるいはどう誤解して、どのような心理状態から「問題行動」を引き起こすのかを解説する。

著：成沢真介(なりさわ・しんすけ)

発行：大月書店

本体価格：1,500円

ISBN:978-4-272-41194-8

『きちんと伝わるはじめての手話』

あいさつ、日常、仕事、趣味といった場面別の会話を写真で紹介。1つの質問に対し、バラエティに富んだ3つの回答を示す。手話を学ぶ上で知っておきたいポイントも説明する。関連&基本単語集を巻末に掲載。

著：米内山明宏(よないやま・あきひろ)

発行：ナツメ社

本体価格：1,300円

ISBN:978-4-8163-4479-4

『障害者スポーツの世界』

障害者、子ども、女性などに開かれたスポーツ「アダプテッド・スポーツ」。その現状と選手をとりまく障壁、関連用語、歴史、大会、留意点、指導者資格の取得、各競技のクラス分け、用器具などを詳しく説明する。

著：藤田紀昭(ふじた・もとあき)

発行：角川学芸出版

本体価格：2,400円

ISBN:978-4-04-621614-4

『車いすの人が行く!』

高校3年生の時、ラクビー部の練習で脊髄損傷を負い、車いす生活になった元電通マン。その彼が、車いすで日本縦断旅行を敢行。北海道から沖縄まで訪ね歩き、日本のバリアフリーの現状を書き下ろす。

著：木島英登（きじま・ひでとつ）

発行：講談社

本体価格：1,500円

ISBN:978-4-06-214638-8

『鬼平犯科帳 13-1～3 新装版』

幕府火付盗賊改方の長官・鬼平こと長谷川平蔵が、ときにはユーモアをまじえ、ときには鋭い勘を働かせて兇悪な盗賊を相手に大奮闘するシリーズ。第13巻の1は「熱海みやげの宝物」「殺しの波紋」を、第13巻の2は「夜針の音松」「墨つばの孫八」を、第13巻の3は「春雪」「一本眉」をそれぞれ収録。底本

『鬼平犯科帳 新装版 13』文春文庫

著：池波 正太郎（いけなみ・しょうたろう）

発行：大活字（大活字文庫 142）

本体価格：各2,950円

ISBN：978-4-86055-427-9 （13-1）

978-4-86055-428-6 （13-2）

978-4-86055-429-3 （13-3）

『発達と障害を考える本 11,12』

外見からわからない発達障害を取り上げて、親子で一緒に読んだり、学校で先生と児童が読んだりすることで障害を理解する手がかりとするシリーズ。

11巻は「ふしぎだね!? てんかんのおともたち」。てんかんの子どもたちの事例を紹介し、手助けのポイントを解説する。

12巻は「発達って、障害ってなんだろう?」。発達とはどんなことか、いろいろな発達と関係する障害などについて解説する。

監修：11巻-原仁（はら・ひとし）12巻-日原信彦（ひはら・のぶひこ）

発行：ミネルヴァ書房

本体価格：各1,800円

ISBN:978-4-623-05110-6（11巻）

978-4-623-05130-4（12巻）

---

（編集後記）

先日、タイ、フィリピンからお客様がいらっしゃいました。

お二人はそれぞれの母国で、若手リーダーとしての活躍が期待されている障害のある方たちです。

今回の訪問で、機構の活動について知っていただくとともに、製品にも実際に触れていただき、共用品とその考え方に興味を持っていただくことができました。

共用品の考えが日本の外へと広がっていくのを実感した一日でした。

今後もこのような機会が増えることを期待しています。（水野）

<http://kyoyohin.org/>